

## 別紙

## 温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) DOWAエフテック株式会社			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1045					
本票作成	部署名 : 環境保安室									
主たる業種	分類コード	16	業種名 : 化学工業							
事業の概要	ボンド用フェライト粉の製造									
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地					
	①	柵原工場			岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1045-6番地					
	②	塩田倉庫			岡山県和気郡和気町塩田314番地					
	③	物流センター			岡山県和気郡和気町矢田1004番地					
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数) 3 所      ●車両台数 (②該当の場合) 1台									

計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 9 年度 ( 3 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率 15.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準				○				
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 6 年度)				目標年度 (令和 9 年度)					
	9,018 t CO <sub>2</sub>				9,413 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和 6 年度) の排出量					
	①	柵原工場			9,003 t CO <sub>2</sub>					
	②	塩田倉庫			10 t CO <sub>2</sub>					
	③	物流センター			4 t CO <sub>2</sub>					
					t CO <sub>2</sub>					
					t CO <sub>2</sub>					
					t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量 (ton/年)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		0.912 t CO <sub>2</sub> / ( t )	0.775 t CO <sub>2</sub> / ( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 6 年度)	達成率 (%)

**【目標削減率設定の基本的な考え方】**

- ・設備の突発故障による稼働率低下防止、自主保全活動(Myエリア)による生産性↑
- ・生産性向上による生産計画と実行 (銘柄差による)
- ・工程設備能力の改善による生産性向上
- ・銘柄切り替えロスの低減

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・IS014001 : 2004年3月認証取得
- ・設備の突発故障による稼働率低下防止活動（工務会議）・設備稼働効率による活動（工務会議）
- ・エネルギー原単位状況確認（HOD会議）・生産性向上による生産計画と実行（生産性向上会議）

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
柵原工場	<p>(令和6年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AK3号➡設備を廃止し高効率設備AK4号を導入 完了 (原単位改善によるCO2削減量 104t/年)</li> <li>・AK1号及びAK4号稼働 原単位の悪いAK2号(小型)は廃止 済み (原単位改善によるCO2削減量 40t/年)</li> <li>・設備の突発故障による稼働率低下を防止する活動継続</li> <li>・フォークリフトバッテリー車2024年2台更新 済み (CO2削減量 14t/2台年)</li> <li>・照明LED化 済み (CO2削減量 2t/年)</li> <li>・コンプレッサー1台更新</li> </ul>

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
柵原工場	<p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年度から再生エネルギー使用</li> <li>・コンプレッサー1台更新 (2026年度)</li> <li>・No1ロータリーキルンの燃料転換 (2028年計画)</li> <li>・フィルタープレスからロータリードライヤーへ更新 (化石燃料削減)</li> <li>・2027年度までに4台フォークリフトバッテリー車に更新 (CO2削減量 7t/1台あたり年)</li> </ul>

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

2025年度より、再生エネ電力30%使用で行っている事。
------------------------------